

第七管区海上保安本部

定例記者懇談会

令和4年8月2日



— プレスリリース —



(1) 「海の日」国土交通大臣表彰等の実施について
～海上保安関係の海事関係功労者表彰～

(2) 海の事故ゼロキャンペーン期間中における海難の発生状況について





問い合わせ先

第七管区海上保安本部

総務部人事課長 中田 健一

TEL 093-321-2931(内線 2130)

令和4年8月2日

第七管区海上保安本部

「海の日」国土交通大臣表彰等の実施について ～海上保安関係の海事関係功労者表彰～

令和4年7月20日(水)、プレミアムホテル門司港(北九州市所在)において、海事関係事業で功労のあった方々への表彰式が執り行われました。

海上保安庁では、例年「海の日」に併せ、海難救助や海難防止活動、海上環境の保全、海上保安思想の普及など、多年にわたり海上保安業務に貢献・精励された方を表彰しております。

第七管区海上保安本部関係者では、国土交通大臣表彰6名、海上保安庁長官表彰9名、第七管区海上保安本部長表彰24名の計39名が受賞されました。

表彰式の状況



令和4年「海の日」表彰受賞者名簿

◎国土交通大臣表彰

○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
海上保安協会 福岡支部 支部長	たけなが けんじろう 竹永 健次郎 (85歳)	多年にわたり公益財団法人海上保安協会福岡支部の支部長として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した

○海難防止協力者(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
九州北部小型船安全協会 海上安全指導員	たなか けいぞう 田中 経藏 (66歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
九州北部小型船安全協会 海上安全指導員	みやざき ふじお 宮崎 富士夫 (76歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止の普及活動を積極的に行い海上交通の安全確保に貢献した
対馬小型船安全協会 海上安全指導員	おおやま しげひろ 大山 重博 (70歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止の普及活動を積極的に行い海上交通の安全確保に貢献した
九州北部小型船安全協会 海上安全指導員	いけべ まさみち 池邊 雅通 (80歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

○海をきれいにするための一般協力者(団体)

宇部・小野田清港会		多年にわたり宇部港・小野田港において清掃活動を行い環境美化及び環境意識向上に貢献した
-----------	--	--

◎海上保安庁長官表彰

○水難救済会救難所等(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
長崎県水難救済会 大村湾救難所長	まつだ たかしげ 松田 孝成 (79歳)	多年にわたり長崎県水難救済会大村湾救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した

○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
福岡県水難救済会 副会長	にしだ はるゆき 西田 晴征 (78歳)	多年にわたり福岡県水難救済会の副会長として水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
海上保安協会 比田勝支部 幹事	たけすえ たかあき 武末 高明 (62歳)	多年にわたり公益財団法人海上保安協会比田勝支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
九州北部小型船安全協会 事務局長	よしの きみえ 吉野 君枝 (65歳)	多年にわたり九州北部小型船安全協会職員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

○海難防止協力者(個人)

長崎小型船安全協会 海上安全指導員	とだ めぐみ 戸田 恵 (76歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
宇部小型船安全協会 海上安全指導員	いしだ ひろみ 石田 宏己 (80歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
宇部小型船安全協会 海上安全指導員	はまの みつや 濱野 光哉 (63歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
伊万里湾小型船安全協会 海上安全指導員	たなか かつみ 田中 勝己 (77歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した

○海をきれいにするための一般協力者(団体)

唐津里浜づくり推進協議会		多年にわたり唐津港海岸において多年にわたり清掃活動を行い海岸の環境美化に貢献した。
--------------	--	---

◎第七管区海上保安本部長表彰

○水難救済会救難所等(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
山口県水難救済会 特牛救難所長	こやま つとむ (82歳) 小山 勉	多年にわたり山口県水難救済会特牛救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した
山口県水難救済会 室津救難所長	みやた たかお (73歳) 宮田 隆男	多年にわたり山口県水難救済会室津救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した
山口県水難救済会 須佐救難所長	くばら たかよし (74歳) 久原 隆義	多年にわたり山口県水難救済会須佐救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した
山口県水難救済会 下関吉母救難所長	むらなが いつみ (84歳) 村永 逸美	多年にわたり山口県水難救済会下関吉母救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した
福岡県水難救済会 地島救難所・救助員	たていし さとし (65歳) 立石 智	多年にわたり福岡県水難救済会地島救難所に所属し海上における人命財産の救護に尽力した

○関係公益法人等役職員(個人)

職名	氏名(年齢)	功績概要
佐賀県水難救済会 会長	みね たつろう (61歳) 峰 達郎	多年にわたり佐賀県水難救済会の会長として水難救済事業を推進し海上における人命財産の救護に尽力した
海上保安協会 佐世保支部 支部長	いしだ ただお (64歳) 石田 忠男	多年にわたり公益財団法人海上保安協会佐世保支部の支部長として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 門司支部 常任幹事	しもにし すけかず (63歳) 下西 助和	多年にわたり公益財団法人海上保安協会門司支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 洞海支部 幹事	おかべ たろう (55歳) 岡部 太郎	多年にわたり公益財団法人海上保安協会洞海支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 洞海支部 幹事	やの こうたろう (60歳) 矢野 功太郎	多年にわたり公益財団法人海上保安協会洞海支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 福岡支部 副支部長	さとう まさとし (72歳) 佐藤 政俊	多年にわたり公益財団法人海上保安協会福岡支部の副支部長として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 長崎支部 幹事	みね はるゆき (75歳) 美根 晴幸	多年にわたり公益財団法人海上保安協会長崎支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 下関支部 幹事	しまむら つよし (64歳) 島村 剛史	多年にわたり公益財団法人海上保安協会下関支部の役員として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 壱岐支部 副支部長	うらた かずお (73歳) 浦田 和男	多年にわたり公益財団法人海上保安協会壱岐支部の副支部長として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した
海上保安協会 壱岐支部 副支部長	かわさき ゆうじ (66歳) 川崎 裕司	多年にわたり公益財団法人海上保安協会壱岐支部の副支部長として海上保安思想の普及と海上保安業務の発展に尽力した

○ 海難防止協力者(個人)

唐津玄海小型船安全協会 海上安全指導員	したもと きよし 下本 喜代志 (73歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
唐津玄海小型船安全協会 海上安全指導員	もりた じゅん 森田 淳 (59歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
唐津玄海小型船安全協会 海上安全指導員	よしなが ひろと 吉永 弘斗 (34歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長崎小型船安全協会 海上安全指導員	とうごう えいいち 東郷 栄一 (62歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
長崎小型船安全協会 海上安全指導員	はまさき こういち 濱崎 幸一 (60歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
佐世保地区小型船安全協会 海上安全指導員	うら いわよし 浦 岩義 (77歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
平戸地区小型船安全協会 海上安全指導員	まつぐち としあき 松口 敏明 (76歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止思想の普及と小型船舶の海難防止活動に尽力した
大分地区小型船安全協会 海上安全指導員	しゅとう かずと 首藤 和人 (72歳)	多年にわたり海上安全指導員として海難防止の普及活動を積極的に行い海上交通の安全確保に貢献した

○海をきれいにするための一般協力者(団体)

職 名	氏 名(年齢)	功 績 概 要
東洋建設株式会社 九州支店		多年にわたり唐津港・伊万里港海岸において清掃活動を行い環境美化及び環境意識向上に貢献した

[検索の使い方](#)

検索



[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [日本の勲章・褒章](#) > 褒章の種類及び授与対象

褒章の種類及び授与対象

褒章は、明治14年12月の「褒章条例」（太政官布告第63号）公布により、**紅綬褒章**、**緑綬褒章**、**藍綬褒章**が制定されたのが始まりで、以降、大正7年に**紺綬褒章**、昭和30年に**黄綬褒章**、**紫綬褒章**が制定され、現在に至っています。

褒章のデザインは、「褒章」の二字を桜の花で飾った円形のメダルで、綬の色（紅、緑、黄、紫、藍、紺）により区分されます。

褒章の種類 ▶



褒章の授与対象

種類	授与対象
こうじゅほうしょう 紅綬褒章	自己の危難を顧みず人命の救助に尽力した方
りよくじゅほうしょう 緑綬褒章	長年にわたり社会に奉仕する活動（ボランティア活動）に従事し、顕著な実績を挙げた方
おうじゅほうしょう 黄綬褒章	農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方
しじゅほうしょう 紫綬褒章	科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方
らんじゅほうしょう 藍綬褒章	<ul style="list-style-type: none"> 会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方 国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務（保護司、民生・児童委員、調停委員等の事務）に尽力した方
こんじゅほうしょう 紺綬褒章	公益のため私財を寄附した方
	褒章を授与される方が団体等である場合

種類	授与対象
ほうじょう 褒状	
しよくはん 飾版	既に褒章を授与された方に更に同種の褒章を授与する場合

参考

- [▶ 勲章・褒章制度の概要](#)
- [▶ 勲章及び褒章の英訳名](#)

[このページの先頭へ](#) 

[ウェブアクセシビリティ](#) [サイトマップ](#)

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話番号 03-5253-2111（大代表）

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan



【問合せ先】

第七管区海上保安本部
交通部 安全対策課長 古場 芳樹
TEL 093-321-2931(内線2640)

令和4年8月2日
第七管区海上保安本部

～海の事故ゼロキャンペーン期間中における海難の発生状況について～

令和4年7月16日(土)～7月31日(日)までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに海難防止思想の普及、高揚を図るため、官民一体となって「海の事故ゼロキャンペーン」を実施しました。

第七管区海上保安本部管内における海の事故ゼロキャンペーン期間中の船舶海難は18隻、人身海難は9人です。※本件数は速報値です。

1 海難発生状況

(1) 第七管区海上保安本部管内における船舶海難及び人身海難発生状況

海の事故ゼロキャンペーン期間中における船舶海難は18隻(昨年比2隻増)、人身海難は9人(昨年比7人減)です。

船舶海難18隻のうち、プレジャーボートによる海難が10隻、漁船による海難が4隻発生しており、プレジャーボートによる海難を種類別にみると運航不能6隻、衝突、乗揚げ、浸水及びその他の海難(船位喪失)が各1隻です。

人身海難9人の内訳は、マリンレジャーに伴う海浜事故が6人、船舶海難によらない乗船者の人身事故が3人です。マリンレジャーに伴う海浜事故については、遊泳中の帰還不能が4人、素潜りでの魚突き中の溺水1人(死亡)及びサーフィン中の負傷が1人です。

(2) 福岡県内における船舶海難及び人身海難発生状況

上記期間中の福岡県内で発生した船舶海難は、6隻(昨年と同数)発生しており、内訳は貨物船が2隻、プレジャーボート、漁船、タンカー及び旅客船が各1隻です。

海難の種類は、貨物船による衝突及び乗揚げ海難が各1隻、プレジャーボート、漁船及び旅客船による運航不能海難が各1隻、タンカーによる衝突海難が1隻です。

また、人身海難は、8人(昨年比4人増)であり、船舶海難によらない乗船者の人身事故1人以外は、すべて福岡県での人身海難です。

※ 令和4年1月1日～7月31日までの第七管区海上保安部管内で発生した海難・人身事故の統計等は、末尾参考資料をご覧ください。

2 海の事故ゼロキャンペーン期間中の事故事例

【船舶海難】

航行中の事故 ～夜間航行中に養殖生簀に乗揚げ～

事故船舶（プレジャーボート、1名乗組）は、7月22日2120頃、大分県佐伯市所在の佐伯湾内での遊漁を終え、係留場所に帰港中、大入島の西側海域に設置されている養殖生簀に乗揚げたもの。

事故船舶は、後日業者手配の船舶により救助され、事故船舶及び養殖生簀の損傷は軽微で、人命に異常は無かった。

養殖生簀への乗揚げ状況



夜間の事故 ～プレジャーボートと漁船（被曳航船）との衝突～

事故船舶Aの損傷状況



事故船舶A（プレジャーボート、4名乗組）は、7月23日1800頃、佐賀県伊万里市所在の波多津港を出港し、佐賀県唐津市加唐島沖にてイカ釣りをを行い、同日2300頃から波多津港向け帰港中、事故船舶B（漁船、1名乗組）は、仲間の船を含む合計3隻で、長崎県雲仙市から佐賀県唐津市所在の呼子港向け航行中、日没頃に事故船舶Bの灯火が点灯しないことが判明したので、仲間の船に曳航されて航行中の同日2345頃、衝突した。事故船舶A、Bについてはそれぞれ事故船舶Bの仲間の船に曳航され、事故船舶Aは波多津港に、事故船舶Bは呼子港に入港した。事故船舶Aは、機関室の浸水があった他、乗船者のうち2名が軽いけがを負った。事故船舶Bは損傷は軽微で人命に異常は無かった。

※夜間は昼間と比べて、周囲の見通しや自船の位置関係を把握することが困難となります。夜間に航行する際は、航行する海域の定置網等の海上構造物の位置を事前に把握しておくとともに、レーダー等の航海計器を活用して航行することが大切です。

【人身海難】

遊泳中の事故 ～風に流され帰還不能～

事故現場の状況



事故者（中学生男子）は、7月24日1000頃、叔父・従妹等3名とともに福岡県宗像市神湊所在の神湊海水浴場へ行き、遊泳を始めた。

事故者は、浮き輪を持って遊泳を再開した際、仲間に浮き輪を投げ渡そうとしたところ、沖に流されたため回収しようとした同日1110頃、砂浜から約100mの沖合に流された。

事故者は、陸に戻ろうとしたが戻れず仰向け状態で漂流していたところ、砂浜で助けを求める従妹等の声を聞いたライフセーバーが水上バイクを使用して、同日1115頃救助された。

事故者については、命に別状無し。

※開設されていない海水浴場等では、監視員不在による発見の遅延により、救助機関への通報が遅くなる可能性があります。

ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で泳ぐこと、子供だけや1人で泳ぎにいかないこと、天気が悪い時や海が荒れているときは泳がないこと、沖に流されないように注意することが重要です。

3 海の事故ゼロキャンペーン期間中の活動

海の事故ゼロキャンペーン期間中における第七管区海上保安本部管内の啓発活動は以下の通りです。

- 関係機関との合同パトロール 6件
- 海の安全教室 12件
- 一日海上保安官による啓発活動 3件
- FMラジオ等を通じた啓発活動 5件

その他、巡視船艇によるプレジャーボート等小型船舶の船長に対する安全指導や海事関係機関等に対するポスターの掲示依頼・リーフレットの配布など海の事故防止について啓発活動を行っています。

参考：各種行事等の実施状況



関係機関との合同パトロール（福岡）



一日海上保安官による啓発活動（門司）



海の安全教室（対馬）



FMラジオを通じた啓発活動（佐世保）

4. 海難防止のためのお知らせ（継続周知）

本年7月31日（日）に海の事故ゼロキャンペーンは終了しますが、令和4年7月16日（土）～8月31日（日）までの間、プレジャーボート運航者、マリンアクティビティ愛好者などのマリンレジャー活動者や遊泳者の安全意識の向上とマリンレジャーに伴う事故及び死亡・行方不明者の減少を図ることを目的とした「夏季安全推進活動期間」を推進中です。

5. 関係資料等参考リンク

走錨防止ポータルサイト

URL: <https://www.kaiho.mlit.go.jp/mission/kaijyoukoutsu/soubyo.html>



遊泳中の事故防止に関する資料はこちら

URL: <https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/data/yuueityuunojikoboushi.pdf>



SUPの事故防止に関する情報はこちら

URL: <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/sup/>



釣り中の事故防止に関する情報はこちら

URL: <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/fishing/>



海の安全情報 海の事故防止対策 ～海の事故ゼロを目指し～
各種安全情報はこちらから

URL: <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku.html>



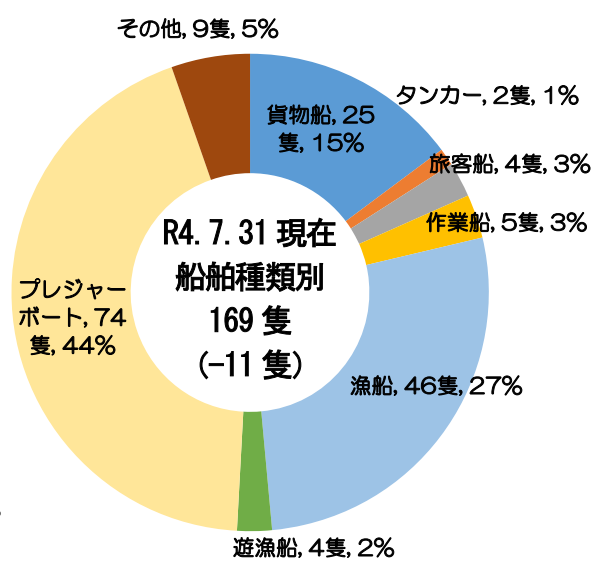
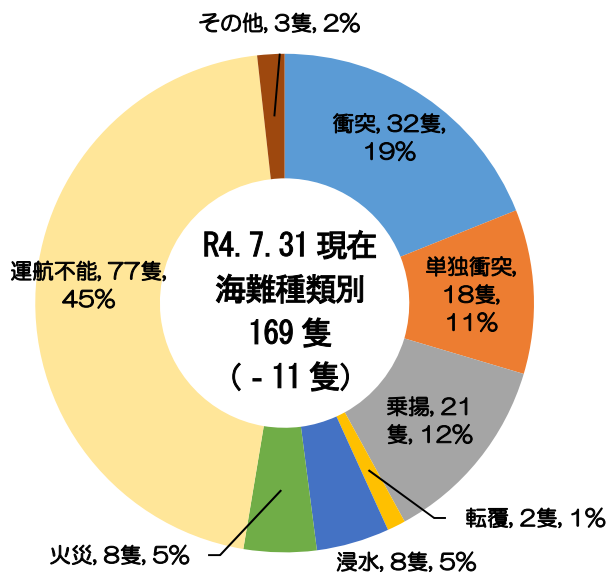
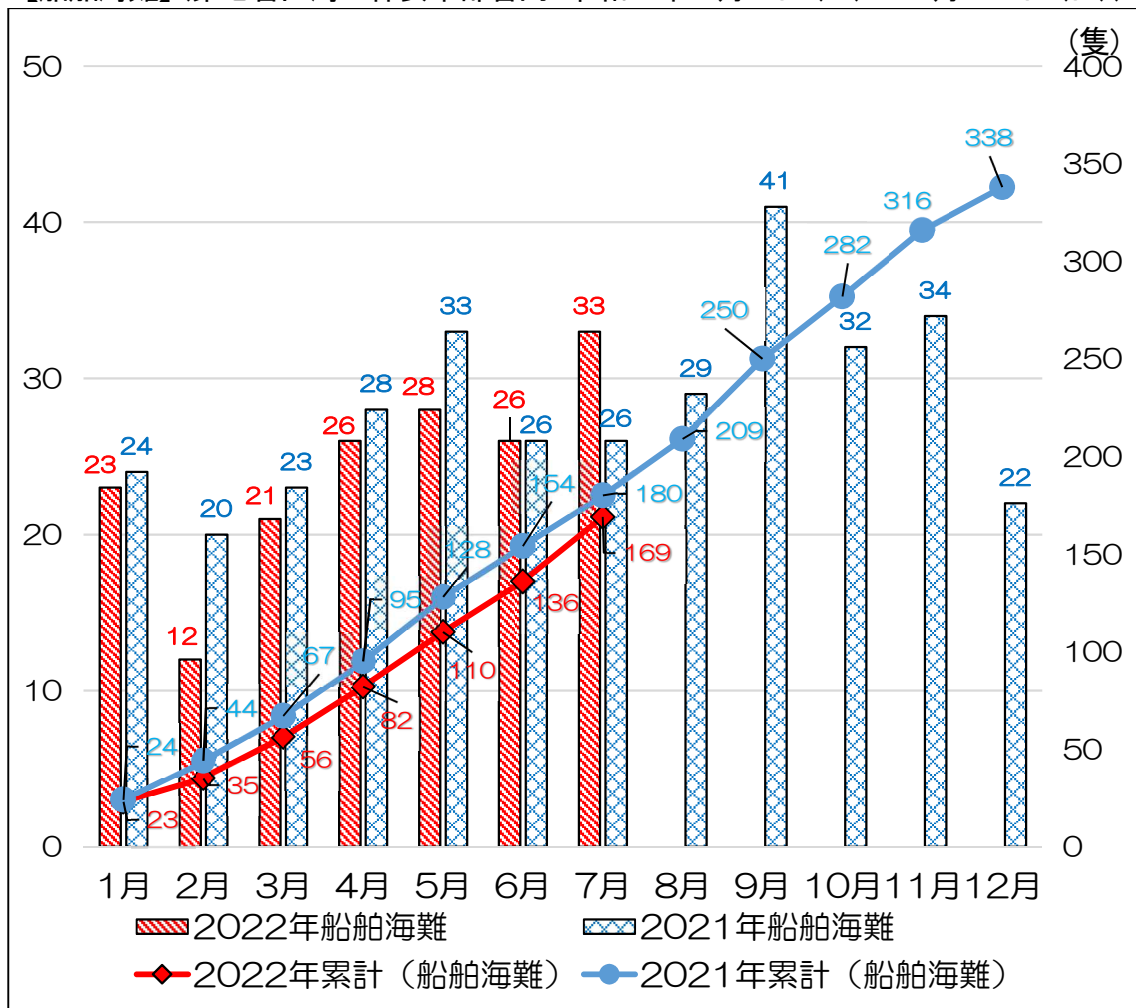
第七管区海上保安部管内の詳しい海難・人身事故統計はこちらから

URL: <https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyomu/kaiko/anzentaisaku/kainan/kainannogenkyoutotaisaku.pdf>

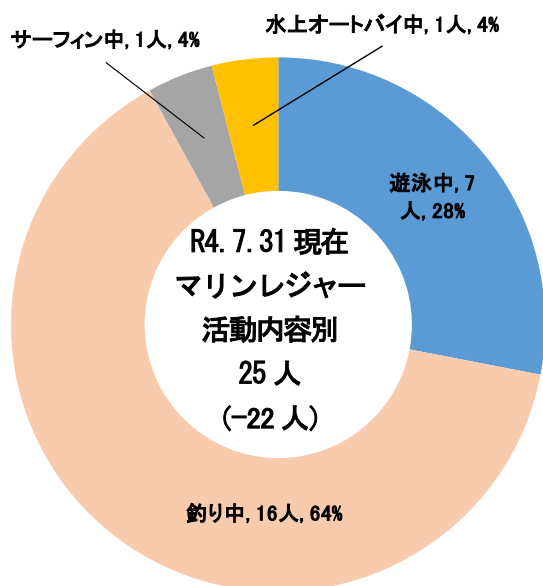
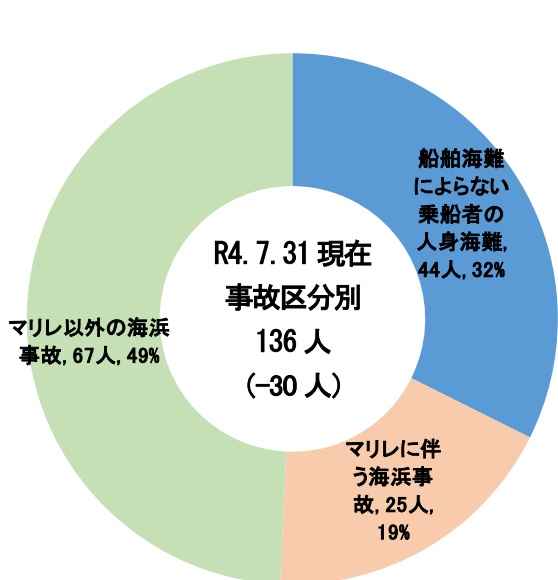
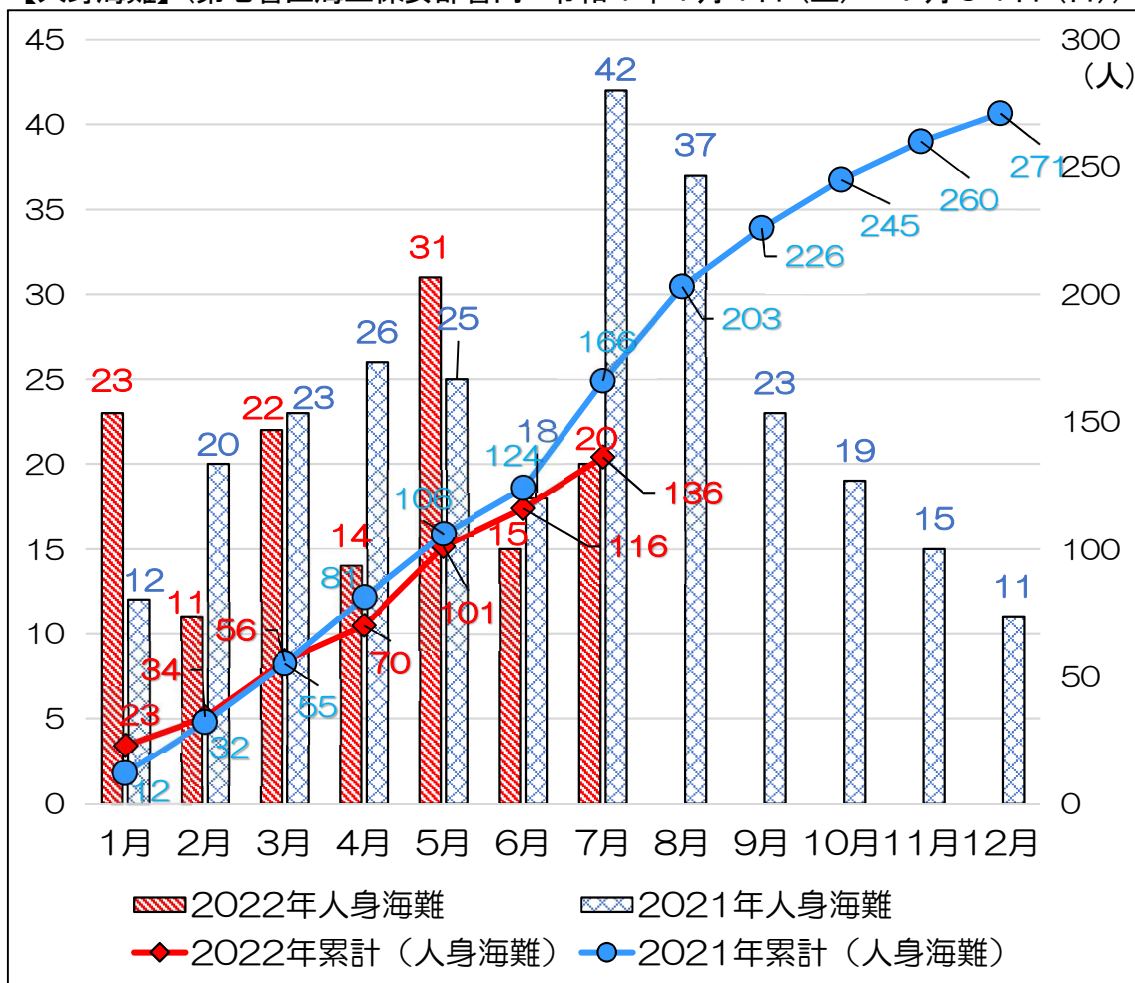


※参考資料（括弧内は前年比）

【船舶海難】（第七管区海上保安本部管内・令和4年1月1日（土）～7月31日（日））



【人身海難】（第七管区海上保安部管内・令和4年1月1日（土）～7月31日（日））



【県別発生状況】

(第七管区海上保安部管内・令和4年7月16日(土)～7月31日(日))

船舶海難の県別集計表

(隻)

	福岡県	山口県	佐賀県	長崎県	大分県
プレジャーボート	1隻	1隻	3隻	1隻	4隻
漁船	1隻	1隻	1隻		1隻
貨物船	2隻				
旅客船	1隻				
タンカー	1隻				
合計	6隻	2隻	4隻	1隻	5隻

人身事故の県別集計表

(人)

	福岡県	長崎県
マリネジャーに伴う海浜事故	6人	
マリネジャー以外の海浜事故		
船舶海難によらない乗船者の人身事故	2人	1人
合計	8人	1人